

# 第五期(24年度から26年度)介護保険計画について



川端 忠義

**川端** 第5期の介護保険料値上げの主な要因は何か。  
**岡田高齢者支援課長** 介護サービスの利用者、認定者の増加。それと施設給付費の増加等が値上げの要因となっております。

**川端** 全県的には約千円値上げで、阿蘇市は三千九百円から四千六百円になり、七百円の値上げである。それから六百円負担軽減して四千円にしたが、財政的に大丈夫か。  
**高齢者支援課長** 来年度は、県からの財政安定化基金二千五百万円と繰越金を充てて四千円に決定しました。財源的には問題ないと考えています。

**川端** 今回の介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)はどんな事業か。  
**高齢者支援課長** 市町村が単独で介護予防、生活支援などを組み立てて行う事業で、市町村の判断に基づいた事業です。

阿蘇郡市内の介護保険料(65歳以上)基準額

市町村	単位:円		
	現在	4月~	引き上げ額
阿蘇市	3,900	4,000	100
南小国町	3,800	4,350	550
小国町	3,725	4,527	800
産山村	4,500	5,500	1,000
高森町	3,900	4,392	500
南阿蘇村	4,800	5,000	200
西原村	3,800	4,300	500
平均	4,061	4,582	521

**川端** 阿蘇市は、総合事業を導入するのか。  
**高齢者支援課長** 来年度は事業には取り組みません。メリット、デメリットを精査して対応を考えていきます。  
**川端** 福祉用具の購入や住宅改修費は、「受領委任方式」(全額立て替えなしで一割負担)にしたらどうか。  
**高齢者支援課長** 前向きに実施できるような方向で考えております。

他に、「農地・水・環境向上対策事業」について、「12月議会以後の経過と改善点等について」の質問がありました。

# 生活保護について



湯浅 正司

**湯浅** 全国的に生活保護世帯が増加しているが、市の状況は。  
**城健康福祉課長** 合併当初数年間は、被保護世帯が100ケース前後で推移していましたが、21年度からは、前年度対比が10%程度で増加しております。被保護世帯の内訳は、高齢者世帯が全体の60%以上を占めておりましたが、増加が始まった頃からこの世帯層が60%を割り込み、逆に65歳未満の稼働年齢層の増加が顕著となっております。世帯別内訳は、高齢者世帯が79世帯で55.24%、障がい者世帯が18世帯で12.59%、傷病者世帯が29世帯で20.29%、母子世帯が4世帯で2.79%、その他の世帯が13世帯で9.09%です。現在被保護世帯が143世帯174名おられます。金額は、一概にいくらとは言えませんが、大体5~6万円ということになります。

**湯浅** 就業先の確保が必要だと思

**湯浅** 就業先の確保が必要だと思

**健康福祉課長** 市に就労支援の職員を1人配置し、一緒にハローワークに行つて、就労先を探している状況です。阿蘇の場合は、温泉地であり、宿泊ホテルとか多く、就労先が他所に比べ多くあり、保護に入る前に支援を行なっております。

## 自殺者の現状について

**湯浅** 自殺者が県内では減少傾向にあるという事だが、阿蘇市の現状は。  
**健康福祉課長** 平成18年~22年の5年間で59名の方が自ら命を絶っております。男性47名、女性12名となっております。今年度は、24年1月までの現在数で、男性が4名、女性が1名の計5名となっております。

**湯浅** 原因は。又、対策としては。  
**健康福祉課長** 動機は、健康問題によるものが最も多く、続いて経済・生活問題となっております。対策としては、専門の心理相談員による心の相談日を毎月1回設けました。又、ゲートキーパーの養成、育成、研修会を行いました。民生委員さん、区長さん、市役所職員、そういう市民と接する人にゲート前で食い止めた、そのような講習を随時開催していきたいと思っております。

# 市職員のパワハラ防止等について



園田 浩文

**園田** 女性管理職としてパワハラ、セクハラ等の相談を受けたことは。  
**橋本市環境課長** 合併後、具体的に受けたことはございません。職員のコミュニケーション等を諮る機会を多くもつように努めています。

**園田** 事例を聞いた事はないか。  
**佐藤総務課長** 合併後、職員からの申し立てではありませんが、口コミで情報が寄せられた事があります。  
**園田** どういった口コミか。  
**総務課長** 品物の売買の話でしたけれども、本人と上司的な立場双方に聞き取り調査を行いました。そのような事実は確認されませんでした。

**園田** 市職員の中ではパワハラ、セクハラ等無いと言う認識でいいのか。  
**渡邊総務部長** 各部課長の回答のように、無かったと思います。ただ、受け取り方の問題で難しいところもあるかとは思っています。  
**園田** 無記名のアンケートを実施される予定は。

**総務部長** 毎年、異動希望調書の中にそのような申告をする場を設けており、特段アンケートについては考えてはおりません。  
**園田** 今後の防止策は。  
**総務課長** 情報提供を頂ければ即対応します。懲戒処分の見直しも昨年行い、それまで明確にしていなかったパワハラについても、セクハラと同様に処分量の基準を定め、全職員にも周知し、防止への取り組みを通知しております。  
**園田** 市長箱の投書の内容は、全て市長が確認されているのか。  
**佐藤市長** 私は全て目を通しております。無記名での投書が多く、このような内容の事は、記名の方がよいかと私は思います。

## 新中央病院計画の進捗状況は

**園田** 新病院にPET、CT検査の導入は計画されているか。  
**岩下中央病院事務局長** この機器は、がん発見には有効であると聞いていますが、施設整備が高額になる為に現段階では難しいと思っております。  
**園田** 病院名称変更の考えは。  
**渡邊総務部長** 先生方や地域の中で、意見を賜りながら、変更するのであれば協議会の中で議論していきたいと考えています。

# 最終年度の特健健診、幹線道路2期計画、坂梨への乗合タクシー導入について



古木 孝宏

**古木** 特定健診が5年計画の最終年度を迎えるが、どう考えているか。  
**城健康福祉課長** 平成22年度の実績が39.09%であり、県下14市で一番の受診率でありました。いろいろな受診勧奨が結果につながっていると思います。更なる受診率向上に努力したいと思っております。

**古木** 当初の試算では65%達成しなければ、保険税の中の後期高齢者支援金が最大10%の加算で一人当たり50000円の負担増になっていたが、そういうペナルティを課されないように住民に周知徹底を図り受診率を上げて頂きたい。  
**健康福祉課長** はつきりした金額は出ていませんが、達成できなければ個人負担が増えることは広報等を通じて知らせいき、達成できるように頑張ります。

**古木** 前回の質問のその後ということで、乗合タクシーの坂梨方面への導入はどうなったのか。



幹線道路現況略図

**井野企画振興課長** 出来るだけ公共交通機関のない空白地帯を解消すべく、坂梨方面への導入は10月から運行できるように取り組みをしています。  
**古木** 幹線道路の2期計画で、やまなみ道路から坂梨馬場地区の県道へ継ぐ路線の計画はどうなったのか。  
**伊藤建設課長** 用地の絡みで、計画変更を行いましたので、現在白紙の状態であります。  
**古木** 利用者も非常に期待している路線であり、計画が白紙であるという事であるが、今後何らかの形で成り立つよう努力していただきたいが、白紙になったことは非常に残念です。まずは今の計画路線をきちんとやりながら、予算がもし許すというようなことがあれば、諦めることなく考えていくことが大事であると思っております。